



その他

6-1 学会等の参加

(1) 学会等の参加

年 月 日	学 会	演 題
平成28年 7月28日 29日	第57回 日本人間ドック学会	胃バリウム検査の不安を軽減するための 取り組み

(2) 演題抄録

平成28年 7月28・29日 第57回日本人間ドック学会学術大会にてポスター発表

演題題目：胃バリウム検査の不安を軽減するための取り組み

発表者：長江みき、伊藤和幸、祖父江功、田島奈緒美、梶野弘美、沼田奈々、高尾多重美、
平山幹生

【目的】

検査に対する満足度や検査中の不安を把握し受診者サービスの向上を図る。

【対象と方法】

平成27年 6月15日～7月31日に人間ドックコースを受診した1,293名を対象に全15項目について無記名のアンケートを行った。質問形式は選択回答に自由記載を併せたものにした。その中の満足度と検査中の不安について検討した。

【結果】

全問記入の1,052名(回答率81.4%)を有効回答とした。性別では男性565名(53.7%)、女性487名(46.3%)平均年齢は66歳であった。満足度は、満足537名51.0%、やや満足231名22.0%、普通278名26.4%、やや不満6名0.6%、不満0名で満足度は高いものであった。しかし、「検査中に不安、不快に思う事があったか」の問いに「あった」と回答した62名中32名51.6%が自由記載で胃バリウム検査に関する不安を訴えた。内容はバリウムの飲み方(うまく飲めるか、全量飲めるか等)、台上での動き、指示が聞き取りにくい等であった。そこで、胃バリウム検査を安心して受けられるよう、平成27年12月の17日間、看護師が事前に胃バリウム検査に対する不安の有無を聞き取り、専用の用紙に記入、レントゲン技師が確認し、不安の内容に沿った説明をすることを試みた。検査終了後受診者には、不安が軽減したか、否かを記入してもらい確認した。その結果事前に不安を訴えた70名の内42名(60%)が上記の取り組みにより「不安が軽減した」と答えた。特にバリウムの飲み方に有効であった。その他初回受診による不安、検査後の排便困難の不安も軽減された。

【考察】

今回事前に不安に思う内容を把握し、他部門と情報を共有していることを受診者が知ること、不安の軽減に繋がったと思われる。当施設は高齢者が多く、他部門との綿密な連携を基により、細かな目配り心配り、さらに適切な声掛けが求められる。今後も受診者が抱く不安を軽減するように努めていくことで、サービスの向上、満足度の向上をめざしたい。

6-2 新規講座

(1) スタイルアップ教室



目的 若い世代から肥満を解消し、生活習慣病及びロコモティブシンドローム等の発生予防及び運動習慣をつけるきっかけづくりをすることで、健康寿命の延伸を図る。

対象 18～49歳の市内在住者

選定方法 定員を超えた場合、次の順で選定する。

(1)初回参加

(2)生活習慣病の予防の目的からBMIが高い順

受講者数 定員 20名程度 97名/年間(8回実施)

託児 子育て世代が受講しやすいよう、ボランティアによる託児を実施する。
1～3歳の未就園児(定員10名)

料金 無料

日程	テーマ
5月23日、7月4日 11月17日、1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ロコモティブシンドロームとメタボリックシンドロームの予防について ・バランスボールヨガ
6月18日、10月3日 12月8日、3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスの良い食事と間食について ・バランスボールヨガ

(2) お気軽運動教室



目的 主に市民の健康の維持、回復及び増進を図るため、生活習慣病の改善を中心とした一次予防の重視を基本方針として、健康づくりを支援する。

対象 市内在住者、在勤者、在学者

受講者数 定員 20 名程度 1,851 名/年間(98 回実施)

料金 無料

日程 毎週金曜日（年末年始、祝日を除く）

ミニ講話テーマ

アンチエイジング/ロコモティブシンドローム/外食の付き合い方/認知症予防の食事
 食品表示/間食の付き合い方/バランスの良い食事/アルコールの付き合い方/塩分摂取
 健診（検診）/受診券の使い方/オプション検査の選び方/人間ドック受診前の準備
 マンモグラフィーと乳房超音波検査/肺がん検診/脳ドック/慢性胃炎と胃がん
 心電図（不整脈）/肺機能検査と COPD/尿検査でわかること/基準値
 乳がん検査/子宮がん検査/緑内障/黄斑変性

(3) 金曜日の朝はラジオ体操でスタート！



- 目 的** 市民の健康維持と疾病予防を推進するため、手軽で健康的な全身運動であるラジオ体操を行い健康づくりにつなげる。併せて、健康づくり事業等の紹介や講話により保健センターの認知度を上げることを目的とする。
- 対 象** 市内在住者、在勤者（小学生以下は保護者同伴とする）、在学者
- 受講者数** 定員50名程度 1,341名/年間(48回実施)
- 料 金** 無料
- 日 程** 毎週金曜日（年末年始、祝日を除く）

6-3 人間ドック健診施設機能評価

人間ドック健診施設機能評価とは

日本人間ドック学会が、健診の質の改善を促進し受診者に安心して健診を受けて頂くことを目的に、人間ドックを行う施設の評価を行い、基準を満たした施設の認定を行うものです。

評価内容は「施設運営のための基本的体制」「受診者の安心と満足」「人間ドック健診の質の確保」に分類され全104項目にのぼり、書面調査と訪問調査で評価します。認定取得は上記の評価内容について、基準を全てクリアした施設であることを証明するものです。

平成28年11月26日 認証を取得しました。



平成28年度版 公益財団法人春日井市健康管理事業団年報

平成29年12月発行

編集・発行 公益財団法人春日井市健康管理事業団

〒486-0804

春日井市鷹来町1丁目1番地1

TEL (0568) 84-3060

FAX (0568) 84-3682